

授業科目名	授業担当者	授業形態	単位数	配当学年	学期			
教育原理	林 泰子	講義	2単位	2年	前期			
【授業の概要】 本授業では、「教育」に関する全般的な基礎理論を学習する。人間の生涯発達における教育の意義・目的を理解し、教育思想・子ども観、教育方法などを、日本や諸外国の歴史的・社会的変遷を通じた広い視点から考察する。 さらに、幼児教育に携わる者の自覚と、教育現場での課題について自らの問題意識を持って取り組む態度の育成を目指す。								
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシー	・教育の意義・目的、歴史、教育思想・子ども観、方法などの知識や理論を説明することができる。 ・教育の必要性、人間形成、人間の生き方について、その課題の論点に対し、教育的視点に基づいた自らの考えを的確に述べるができる。					
	生きる力	A				DPⅢ-3		
		C				DPⅡ-1		
【授業計画】			授業の内容	授業時間外の学習				
1	イントロダクション(講義概要、到達目標・授業の進め方と注意、評価方法)、教育原理とは？							
2	教育の意義と目的(教育とは何か?)			講義内容をまとめる				
3	人間形成と教育(意図的教育と無意図的教育)			講義内容を整理し、次の課題の情報を集める				
4	人間形成と環境(家庭・地域・社会との関連)			講義内容をまとめる				
5	諸外国の教育の歴史			講義内容をまとめる				
6	諸外国の教育思想			講義内容をまとめる				
7	日本の教育の歴史と教育思想			講義内容をまとめる				
8	日本の近代社会と教育			講義内容をまとめる				
9	子ども観と教育観の変遷			講義内容をまとめて整理する				
10	教育実践の基礎理論1(行動主義・構成主義)			講義内容をまとめる				
11	教育実践の基礎理論2(到達目標・授業設計・評価)			講義内容をまとめる				
12	人間形成と道徳性の発達(コールバーグ)			講義内容をまとめる				
13	道徳教育の重要性			講義内容を整理し課題を作成する				
14	現代の教育の現状と課題			講義内容をまとめて整理する				
15	生涯学習社会と教育の展望 総括			講義内容をまとめて整理する				
【購入テキスト】	保育シリーズ2『教育原理』児童育成協会監修、矢藤誠慈郎・北野幸子編集、中央法規							
【参考書・資料】	新保育士養成講座第2巻『教育原理』新保育士養成講座編纂委員会編、全国社会福祉協議会『教学改善のすすめ』林徳治・藤本光司・若杉祥太編著、ぎょうせい							
【成績基準】	定期試験			中間試験	授業内 提出物等	ホームワーク 提出物等	授業への 取組姿勢	その他 (具体的に)
	筆記試験	レポート	実技試験					
	50%	%	%					

授業科目名 教育制度論		授業担当者 林 泰子		授業形態 講義	単位数 2単位	配当学年 2年	学期 後期		
【授業の概要】 教育の始まりや、教育を規定する法律、行政などの教育制度の基礎知識を学習する。 また、現代の多様化している教育や教育環境などに関する諸状況を取り上げ、各自の問題意識を高め、世界的な視点からその課題や展望を考察する。									
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー		ディプロマ・ポリシー		<ul style="list-style-type: none"> ・教育制度のはじまりについて、その歴史的背景や必要性を説明することができる。 ・教育に関する諸問題における対応策・解決策について、自らの意見を述べるができる。 				
	生きる力	B	D P II-2						
			D P III-2						
		C	D P II-1						
【授業計画】				授業の内容	授業時間外の学習				
1	イントロダクション（授業の到達目標・授業の進め方と注意・成績評価の説明・毎回の授業概要）								
2	教育の制度化の始まり				講義内容をまとめる				
3	日本の教育制度と歴史的背景				講義内容を整理し、次の課題の資料を集める				
4	教育格差問題				講義内容をまとめる				
5	教育を規定する法律と行政				講義内容をまとめる				
6	道徳教育と人格の育成				講義内容をまとめる				
7	現代の教育問題：命の教育 1				講義内容を整理し、課題レポートを作成する				
8	国際化・情報化の進行				講義内容をまとめる				
9	現代の教育問題：命の教育 2				講義内容を整理し、課題レポートを作成する				
10	諸外国の教育制度				講義内容をまとめる				
11	諸外国の教育問題				講義内容をまとめる				
12	教育を受ける権利と諸問題				講義内容をまとめる				
13	問われる教師、保護者、学校、教育の質				講義内容を整理し課題を作成する				
14	これからの学びの支援「21世紀型スキル」				講義内容をまとめて整理する				
15	現代に求められる教育政策				講義内容をまとめて整理する				
【購入テキスト】		保育シリーズ2『教育原理』児童育成協会監修、矢藤誠慈郎・北野幸子編集、中央法規							
【参考書・資料】		文部科学省編、『幼稚園教育要領』、教育出版。 文部科学省編、『小学校 学習指導要領』、東京書籍。 『教学改善のすすめ』林徳治・藤本光司・若杉祥太編著、ぎょうせい							
【成績基準】		定期試験			中間試験	授業内 提出物等	ホームワーク 提出物等	授業への 取組姿勢	その他 (具体的に)
		筆記試験	レポート	実技試験					
		%	50%	%	%	40%	%	10%	%

授業科目名 相談援助	授業担当者 木下 隆志	授業形態 演習	単位数 1 単位	配当学年 2 年	学期 前期			
【授業の概要】 目的：母子に係る対人援助職として必要な援助技術を学ぶ。 概要：子どもとかかわる専門職には、ソーシャルワークの視点が求められる。相談援助技術の実践の中で、どのような資質が求められるのか、子どもの養育者である保護者の気持ちに共感し寄り添う。話をよく聴くなどという基本的な援助技術を用い、信頼関係構築のための知識・技術を身につける。								
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシー	相談は、単に話を聞くことではなく、不安からの解消、将来への希望を見出すことが大切となる。授業では、各事例から、聴くこと→実践（支援）の一体的なソーシャルワークの構成を知ってほしい。そのため、左記のポリシーを意識して取り組むこと。					
	生きる力	C				DPⅡ-1		
	表現する力	C				DPⅠ-1		
DPⅡ-3								
【授業計画】			授業の内容		授業時間外の学習			
1	相談援助の基本		相談援助とは何かを理解する p1-p10					
2	相談援助の意義		原則や視点を理解する p11-p20					
3	相談援助の機能		ワークシート提出 1 相談援助の役割を理解する p21-p30					
4	保育とソーシャルワーク		ソーシャルワークとの関係を理解する p31-p40					
5	相談援助の対象		対象者を理解する p41-p50					
6	相談援助の過程		中間テスト1 インテーク面接からのプロセスを理解する p51-p60					
7	相談援助の技術とアプローチ		援助方法を理解する p61-p70					
8	相談援助における計画・記録・評価		ワークシート提出2 援助計画を理解する p71-p80					
9	相談援助における関係機関・専門職との連携		SWにおける連携とは p81-p90					
10	相談援助における社会資源の活用・調整・開発		社会資源調整を理解する p91-p100					
11	相談援助の事例Ⅰ—保育所—		事例からの援助イメージを定着させる p101-p110					
12	相談援助の事例Ⅱ—児童養護施設—		中間テスト2 事例2 p121-p131					
13	相談援助の事例Ⅲ—福祉型障害児入所施設—		事例3 p141-p150					
14	相談援助の事例Ⅳ—母子生活支援施設		ワークシート提出3 事例4 p151-p160					
15	保育士に求められる相談援助 まとめ		相談援助の総括を行う					
【購入テキスト】	児童家庭福祉の相談援助 相澤譲治・井村圭壯・安田誠人 編著 建帛社							
【参考書・資料】	事例で学ぶスーパービジョン 吉弘淳一、横井一之 文京出版（建帛社専属）							
【成績基準】	定期試験			中間試験	授業内提出物等	ホームワーク提出物等	授業への取組姿勢	その他（具体的に）
	筆記試験	レポート	実技試験					
	50%	%	%	20%	20%	%	10%	%

授業科目名 社会的養護		授業担当者 木下 隆志		授業形態 講義	単位数 2単位	配当学年 2年	学期 前期				
【授業の概要】											
現代社会における社会的養護の理念と概念、社会的養護の史的変遷等を学び、そして社会的養護と児童家庭福祉とのかわり、社会的養護の制度と法体系等を理解する。さらに、施設養護の基本原則とその実際について理解する。これらのことを踏まえて社会的養護の現状と課題について考察する。											
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー		ディプロマ・ポリシー		子どもが自立するのに健全な家庭環境が不可欠なものであることを理解する。一方で、家庭環境が整わず親と離れて生活する子どもが存在することを知り、そのような子どもたちへの具体的な支援・援助方法を考察する。						
	生きる力	A	DPⅢ-3								
	感じる力	A	DPⅠ-1								
			DPⅠ-2								
	表現する力	C	DPⅠ-1								
DPⅡ-3											
【授業計画】				授業の内容				授業時間外の学習			
1	児童養護と保育士				児童養護の意味 p11-p19						
2	社会的養護のなりたち				歴史観を学ぶ p22-p37						
3	子どもの権利				国際比較を通して理解する p41-p50						
4	児童養護の基本的な考え方				個の尊重 p50-p56						
5	児童養護の種類と内容				種類体系を理解する p61-p83						
6	施設養護における保育士の援助・支援				施設養護の目標 p86-p102						
7	施設養護における保育士の援助・支援 自立支援計画の作成				自立支援計画を理解する p102						
8	家庭への支援				家庭の機能と調整 p107-p114						
9	家庭への支援2				家庭の機能と調整 p107-p114						
10	施設と関係機関				措置機関との関係 p118-p129						
11	施設と関係機関2				地域支援者との関係 p118-p129						
12	里親の現状と課題				里親制度の携帯 p131-p145						
13	施設の運営				措置制度を学ぶ p149-p150						
14	援助者としての保育士				援助者としての資質 p166-p178						
15	まとめ				総括を行う						
【購入テキスト】		保育士をめざす人の社会的養護 伊達悦子・辰巳隆 編著 みらい									
【参考書・資料】											
【成績基準】		定期試験			中間試験	授業内 提出物等	ホームワーク 提出物等	授業への 取組姿勢	その他 (具体的に)		
	筆記試験	レポート	実技試験								
	50%	%	%	20%	%	20%	10%	%			

授業科目名 発達心理学（保育の心理学Ⅱを含む）		授業担当者 山田 理恵子		授業形態 演習	単位数 1単位	配当学年 2年	学期 前期		
【授業の概要】 子どもの心身の発達と保育における発達援助のあり方を学ぶため、いくつかの事例や保育実践に取り組む。									
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー		ディプロマ・ポリシー		個と全体を見据えた関わりや援助ができる。				
	感じる力	B	DPⅢ-1		子どもの発達状況やプロセスを理解し、発達に応じた関わりができる。				
		C	DPⅡ-3						
【授業計画】				授業の内容	授業時間外の学習				
1	子ども理解における発達の把握				第1～10回では、毎時間、「子どもの心身の発達」について理解度をチェックするため小テストを実施する。また、ホームワークとして、発達理論に関する問題集を課す。				
2	個人差や発達過程に応じた保育								
3	身体感覚を伴う多様な経験と環境								
4	環境としての保育者と子どもの発達								
5	子ども相互の関わりと関係作り								
6	自己主張と自己統制								
7	子ども集団と保育の環境								
8	子どもの生活と学び								
9	子どもの遊びと学び								
10	生きる力の基礎を培う								
11	基本的生活習慣の獲得と発達援助				第11～14回では、「発達援助」の実際について、事例研究を行うので、資料をよく読み、意見をまとめておく				
12	自己の主体性の形成と発達援助								
13	就学支援								
14	子どもの発達と保育の現代的課題								
15	まとめ								
【購入テキスト】		その都度、資料を配付する。							
【参考書・資料】		必要に応じて紹介する。							
【成績基準】		定期試験			中間試験	授業内提出物等	ホームワーク提出物等	授業への取組姿勢	その他（具体的に）
		筆記試験	レポート	実技試験					
		%	%	%	%	50%	20%	%	30%

授業科目名 家庭支援論		授業担当者 岸本 朝予		授業形態 講義	単位数 2単位	配当学年 2年	学期 後期	
【授業の概要】 社会の変化と共に家庭や家族の捉え方やそのあり方が多様化してきている。保育現場においても子どもの健やかな成長のための役割として、家庭との連携また支援などの働きが求められるようになってきた。本講義では、子どもを取りまく社会や家庭環境の現状を理解すると共に、家庭支援とはどのような働きであるかを学ぶ。また、今子どもたちがおかれている状況を自らの状況に引き寄せて考えることで、今後の課題などに気づく機会を持つ。								
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー		ディプロマ・ポリシー		<ul style="list-style-type: none"> ・昨今の子育て環境を具体的に知り、子どもや保護者、またそれらを取りまく社会が抱えるニーズについて理解する ・子どもや家族のために行う多様な支援の現状を知る ・保育士の担う家庭支援の役割について考察し、自らの考えをもつ 			
	感じる力	A	D P I - 1					
			D P I - 2					
	表現する力	C	D P I - 1					
D P II - 3								
【授業計画】				授業の内容		授業時間外の学習		
1	家庭の意義とその機能			講義内容を復習する				
2	家庭支援の必要性			家庭支援の必要性について一考察を持つ				
3	家庭支援の視点からの育児について I			育児体験のための準備 I				
4	家庭支援の視点からの育児について II			育児体験のための準備 II				
5	家庭生活を取り巻く社会的変化			育児体験の振り返り				
6	子育ちの障壁			子どもの育ちの障壁についての復習				
7	特別な配慮を必要とする子どもを持つ親への支援			子どもの育ちの障壁についての理解				
8	ひとり親家庭で育つ子とその家庭への支援			子どもを取り巻く家庭環境の理解				
9	保育士等が行う子育て支援の原理			保育所・保育士の役割の理解				
10	子育て支援の施策			子育て支援の歴史的変遷を理解する				
11	多様な子育て支援サービス I			授業内容の復習と理解				
12	多様な子育て支援サービス II			授業内容の復習と理解				
13	子育て支援サービス今後の課題 I			授業内容の理解と一考察を持つ				
14	子育て支援サービス今後の課題 II			授業内容の理解と一考察を持つ				
15	まとめ			授業内容の総復習と一考察をもつ				
【購入テキスト】		必要に応じて資料を配布						
【参考書・資料】		<ul style="list-style-type: none"> ・小田豊、日浦直美、中橋美徳編著「新保育ライブラリ 家庭支援論[新版]」北大路書房、2015年 ・新保幸男、小林理編集「家庭支援論」、中央法規、2016年 						
【成績基準】		定期試験		中間試験	授業内提出物等	ホームワーク提出物等	授業への取組姿勢	その他(具体的に)
	筆記試験	レポート	実技試験					
	70%	%	%	%	20%	%	10%	%

授業科目名 保育・教育課程論	授業担当者 岸本 朝予	授業形態 講義	単位数 2単位	配当学年 2年	学期 前期			
【授業の概要】 保育所・幼稚園・認定こども園は、各園それぞれの「保育理念」をもっている。そしてこの保育理念の達成に向けて日々の保育を展開している。保育理念を実現するための全体的な計画から日々の指導計画までが一つの流れとなって計画されている。本講義では、乳幼児教育における保育・教育課程の歴史的変遷をふまえて、保育・教育の計画の基本的知識や役割を理解する。さらに自分で全体的な計画や日々の指導計画を作成する知識と実践力を身につけ、各人の子ども観や保育観の構築を目指す。								
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシー	・保育・教育課程に関する基本的知識を習得する ・全体的な計画と指導計画の役割を理解する ・興味関心、意欲を持って課題に取り組み、ディスカッションや発表を行う ・指導計画を自分で作成する知識と実践力を習得する					
	生きる力	B				DPⅡ-2		
						DPⅢ-2		
	感じる力	B				DPⅢ-1		
		C				DPⅡ-3		
	表現する力	C				DPⅠ-1		
DPⅡ-3								
【授業計画】 授業の内容			授業時間外の学習					
1	オリエンテーション、保育と教育			授業概要の理解				
2	保育における計画の意義			授業内容の理解と復習				
3	教育課程・保育課程の編成			授業内容の理解と復習				
4	保育所における指導計画と保育の実践			指導計画作成の理解				
5	指導計画の作成Ⅰ			指導計画作成の準備				
6	指導計画の作成Ⅱ			指導計画作成の準備				
7	保育所における指導計画の振り返り			保育所実践の振り返り				
8	幼稚園の教育課程について			幼稚園教育課程の理解				
9	幼稚園の教育課程の編成			授業内容の理解と復習				
10	幼稚園の指導計画作成の際の留意点			授業内容の理解と復習				
11	認定こども園の全体的な計画			認定こども園全体的な計画の理解				
12	生きる力の連続性			授業内容の理解と一考察を持つ				
13	春夏の指導計画の要点			授業内容の理解と復習				
14	秋冬の指導計画の要点			徐行内容の理解と復習				
15	まとめ			授業内容の総理解と総復習				
【購入テキスト】	必要に応じて資料の配布							
【参考書・資料】	・千葉武夫 那須信樹編『教育・保育課程論』 2016年 中央法規 ・岩崎淳子 及川留美 粕谷亘正著『教育・保育課程論 書いて学べる指導計画』2016年 萌文書林 ・保育所保育指針 ・幼稚園教育要領 ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 など							
【成績基準】	定期試験			中間試験	授業内 提出物等	ホームワーク 提出物等	授業への 取組姿勢	その他 (具体的に)
	筆記試験	レポート	実技試験					
	60%	%	%					

授業科目名 保育内容演習・人間関係		授業担当者 西條 喜博		授業形態 演習	単位数 1単位	配当学年 2年	学期 前期		
【授業の概要】 現代の希薄になった人間関係の中での子どもの関わりあう力の育成について理解する。また、保護者間、先生間など大人の人間関係が子どものどう影響するかを考える。幼稚園、保育所、家庭、地域社会などが連携し多様な人間関係のなかで子どもを育てていくことの大切さを学ぶ。									
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー		ディプロマ・ポリシー		・領域・人間関係の理論や実態について理解し説明することができる。				
	生きる力	B	DPⅡ-2		・領域・人間関係の理論や実態について理解し説明することができる。				
			DPⅢ-2						
	感じる力	A	DPⅠ-1		・多様な子どもへの関わりや特別な配慮に積極的に関心を持つ。				
			DPⅠ-2						
表現する	A	DPⅡ-1		・子どもの人間関係育成に必要な多様な人間関係のあり方を身につける。					
		DPⅢ-1							
【授業計画】				授業の内容	授業時間外の学習				
1	現代社会と子どもの人間関係の実態とあり方を知る。				教科書を読み、学習に必要な意識をたかめる。				
2	子どもを取り巻く人間関係が子どもに与える影響と実態を知る。				普段の子どもたちの生活の状況をみる。				
3	領域「人間関係」のねらいと内容				資料を読み、内容を把握する。				
4	子どもと保育者の関係、子ども同士の関係、その他の人間関係				資料を読み、内容を把握する。				
5	仲間関係の育ち 遊びとけんか、保育者の役割を知る				資料を読み、内容を把握する。				
6	道徳性の芽生え 人間関係から善悪の判断を知る				資料を読み、内容を把握する。				
7	演習：人と人とのコミュニケーション				友人との関わりを見直す。				
8	遊びの中における人間関係形成のあり方を知る				人間形成に必要なことを考える				
9	人間関係を構築する適切な保育者の援助方法				教科書を読み、内容を把握しておく。				
10	保育者と子どもの相互作用				教科書を読み、内容を把握しておく。				
11	人と関わる力を育てる保育内容の立案と実践				事前に日案を書き、保育内容をたてる。				
12	人と関わる力を育てる保育内容の立案と実践				事前に日案を書き、保育内容をたてる。				
13	人との関わりが難しい子どもへの援助				子どもとの取り組み方を考える。				
14	子どもの人権・多様な人間関係の必然性				教科書を読み、内容を把握しておく。				
15	まとめ 振り返り				今までの授業の内容を振り返る。				
【購入テキスト】		体験する・調べる・考える 領域 人間関係 萌文書林							
【参考書・資料】		必要に応じ紹介する。							
【成績基準】		定期試験			中間試験	授業内	ホームワーク	授業への	その他
提出物や、試験、授業態度などを基準とする。		筆記試験	レポート	実技試験	提出物等	提出物等	取組姿勢	(具体的に)	
		50%	15%	%	%	15%	%	20%	%

授業科目名 保育内容演習・健康		授業担当者 西條 喜博	授業形態 演習	単位数 1単位	配当学年 2年	学期 後期			
【授業の概要】 近年、幼児の体力低下が叫ばれている。「体力」というのは、生きていく中で必要な力であり、乳幼児期においては大切な身体を作るために必要である。この「健康」の授業を通して、乳幼児の心身の発達の重要性を知り、身体を動かすことの楽しさや、生活習慣、応急処置などを理解することを目的とする。									
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー		ディプロマ・ポリシー		<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の心身の成長・発達について説明することができる。 ・乳幼児の健康の問題点を、自らの意見で述べることができる。 ・積極的に乳幼児の健康に関して興味・関心を持ち、自ら調べ、考える態度を持つ。 ・乳幼児に対して、自ら到達目標を設定し、指導することができる。 				
	生きる力	A	D P III - 3						
	感じる力	C	D P II - 3						
	表現する力	C	D P I - 1						
D P II - 3									
【授業計画】 授業の内容				授業時間外の学習					
1	自分の健康について、話することができる				健康について考える				
2	幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「健康」の「ねらい」・「内容」を知る				資料を読み、内容を把握する				
3	乳幼児の身体の発育・発達を知る				配布プリントを読む				
4	乳幼児の心の発育・発達を知る				配布プリントを読む				
5	乳幼児の基本的な生活習慣を知る				配布プリントを読む				
6	乳幼児の安全指導を考える				配布プリントを読む				
7	乳幼児の運動能力の発達を知る				配布プリントを読む				
8	乳幼児の運動能力の発達と運動要素を知る				配布プリントを読む				
9	運動指導を体験する 指導案を作成する				グループごとに指導案を作成し発表する				
10	運動指導を体験する グループごとに体育指導を発表する								
11	運動指導を体験する グループごとに体育指導を発表する								
12	乳幼児の体力測定方法を知る				体力測定の動画を確認しておく				
13	乳幼児の怪我の応急処置、乳幼児の心肺蘇生法を知る				事前に病気や怪我のことを知る				
14	乳幼児の病気の対応方法を知る				事前に病気や怪我のことを知る				
15	まとめ 振り返り				今までの講義の内容を振り返る。				
【購入テキスト】		新訂幼児教育法シリーズ 心身の健康に関する領域健康（東京書籍）1,500円							
【参考書・資料】		必要に応じて紹介する							
【成績基準】 提出物や、試験、授業態度などを基準とする。		定期試験			中間試験	授業内提出物等	ホームワーク提出物等	授業への取組姿勢	その他（具体的に）
		筆記試験	レポート	実技試験					
		50%	%	20%	%	10%	%	20%	%

授業科目名 保育内容演習・表現Ⅳ	授業担当者 小西 英子	授業形態 演習	単位数 1単位	配当学年 2年	学期 前期				
【授業の概要】 こどもの造形表現に関する知識と技術を修得することを目的として、制作実技を通して以下の内容の基本を身につける。 <ul style="list-style-type: none"> こどもの発達との関わりについて。 さまざまな素材の色、形、感触、イメージについて。 表現活動の技法、環境設定、遊びへの展開について。 									
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシー	造形領域に於ける保育の方法についての知識を身につける。 こどもの造形の多様性を理解し、その個性を尊重する。 こどもの造形表現について、自ら調べ、考え、意見を述べる。 造形表現の楽しさを体験し、その美しさを感じて伝える。 保育の現場で実践できる造形技能と指導力を身につける。 こどもの造形に於ける課題を認識し、積極的に解決に取り組む。						
	感じる力	A				D P I - 1			
		C				D P I I - 3			
	表現する力	B				D P I - 3			
		C				D P I - 1			
						D P I I - 3			
【授業計画】			授業の内容			授業時間外の学習			
1	発達段階と工作・3歳児…色画用紙をテープ状に切って作る			教科書 p100～103 を予習、内容を把握する。					
2	発達段階と工作・4.5歳児…紙コップ・ビニール袋で作る			プリント「ポリ袋で遊ぼう」を予習、内容を把握する。					
3	発達段階と工作・5.6歳児…立体カード			プリント「立体カード」を予習、内容を把握する。					
4	発達段階と工作・3～6歳児…封筒を使ってさかなつり			プリント「さかなつり、タコつり」を予習、内容を把握する。					
5	発達段階と工作・3～6歳児…画用紙を揉んでアイスクリーム作り			プリント「アイスクリーム」を予習、内容を把握する。					
6	造形表現能力の発達段階について①			プリント「造形表現能力の発達段階」の「描く」を予習、内容を把握する。					
7	造形表現能力の発達段階について②			プリント「造形表現能力の発達段階」の「作る」を予習、内容を把握する。					
8	発達段階と工作・4～6歳児…新聞紙と和紙で野菜を作る①			いろいろな野菜の形を観察しておく。					
9	発達段階と工作・4～6歳児…新聞紙と和紙で野菜を作る②			いろいろな野菜の色を観察しておく。					
10	発達段階と工作・4～6歳児…かざぐるま			プリント「かざぐるま」を予習、内容を把握する。					
11	環境と造形・壁面制作			秋の壁面装飾に使える折り紙を調べておく。					
12	設定保育の実践・紙コップのパクパク人形			プリント「パクパク人形」を予習、内容を把握する。					
13	設定保育の実践・ぶどう作り			いろいろな果物の色と形を観察しておく。					
14	設定保育の実践・たぬきのお月見			「しょうじょうじのたぬきばやし」の曲と歌詞を覚え、ダンスを考えておく。					
15	ロゴデザイン			デザインの資料を集めておく					
【購入テキスト】		絵画あそび技法百科(ひかりのくに)							
【参考書・資料】									
【成績基準】		定期試験			中間試験	授業内提出物等	ホームワーク提出物等	授業への取組姿勢	その他(具体的に)
		筆記試験	レポート	実技試験					
		%	%	%	%	100%	%	%	

授業科目名 保育内容演習・表現Ⅴ	授業担当者 小西 英子	授業形態 演習	単位数 1単位	配当学年 2年	学期 後期			
【授業の概要】 こどもの造形表現に関する知識と技術を修得することを目的として、制作実技を通して以下の内容の基本を身につける。 <ul style="list-style-type: none"> こどもの発達との関わりについて。 さまざまな素材の色、形、感触、イメージについて。 表現活動の技法、環境設定、遊びへの展開について。 								
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシー		造形領域に於ける保育の方法についての知識を身につける。 こどもの造形の多様性を理解し、その個性を尊重する。 こどもの造形表現について、自ら調べ、考え、意見を述べる。 造形表現の楽しさを体験し、その美しさを感じて伝える。 保育の現場で実践できる造形技能と指導力を身につける。 こどもの造形に於ける課題を認識し、積極的に解決に取り組む。				
	感じる力	A	DPI-1					
			DPI-2					
	表現する力	C	DPⅡ-3					
		B	DPI-3					
			C				DPI-1	
		DPⅡ-3						
【授業計画】			授業の内容			授業時間外の学習		
1	平面表現・テーマに合わせてクレヨン、パス、色紙で平面表現			教科書、プリント、スケッチブックを見てクレヨン、パス、色紙について学んだことを復習しておく。				
2	版画材料と技法・版画制作①紙版画			教科書p.46～49を読み、内容を把握する。				
3	版画材料と技法・版画制作②フロッタージュ スケッチブックのまとめ①・版画			教科書p.60～61を読み、内容を把握する。				
4	立体表現・紙粘土			花瓶のデザインを考えておく。				
5	平面表現・フィンガーペインティング			教科書p.8.9を読み、内容を把握する。				
6	平面表現・紙染め			教科書p.38.39を読み、内容を把握する。				
7	平面表現・シャボン玉版画、にじみ絵			教科書p.20.21.40.41を読み、内容を把握する。				
8	立体表現・パスタで作るクリスマス・リース			クリスマスリースの種類やデザインを調べておく。				
9	平面表現・砂絵 クリスマス・リース着色			砂絵のデザインを考えておく。				
10	平面表現・ステンドグラス クリスマス・リース仕上げ			教科書p.96.97を読み、内容を把握する。				
11	スケッチブックのまとめ②・平面表現			今までに制作した作品を揃えて確認しておく。				
12	工作・手袋シアター①			裁縫の基礎技術を確認しておく。				
13	工作・手袋シアター②			様々な手袋シアターの種類を調べておく。				
14	工作・鬼のお面			教科書p.86.87を読み、内容を把握する。				
15	手袋シアターの実演発表 指導方法のまとめ			手袋シアターのパフォーマンスを覚え、練習しておく。				
【購入テキスト】	絵画あそび技法百科(ひかりのくに)							
【参考書・資料】								
【成績基準】	定期試験			中間試験	授業内 提出物等	ホームワーク 提出物等	授業への 取組姿勢	その他 (具体的に)
	筆記試験	レポート	実技試験					
	%	%	%	%	100%	%	%	%

授業科目名	授業担当者		授業形態	単位数	配当学年	学期		
乳児保育Ⅱ	岸本 朝予		演習	1単位	2年	前期		
【授業の概要】								
乳児の保育に必要な理論や知識を学習し、人間発達における乳児期の意識や重要性についての理解を深める。乳児保育を行う保育者としての役割を自覚し、乳児保育の望ましい方向性を探る。乳児保育にかかわるさまざまな視点からの学びを通し、望ましい保育を考察・実践していくための基礎となる力の涵養を図る。								
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシー	・乳児保育における理論と実践の関連性を認識し、乳児の成長を支える基本的な生活や遊びについての理解を深め、実践力を高める ・乳児の発達に応じた保育指導案を的確に作成することができるようになり、遊びの創作に積極的に取り組み、保育を行う力を身に付ける。					
	感じる力	C					DPⅡ-3	
	表現する力	B					DPⅠ-3	
【授業計画】 授業の内容				授業時間外の学習				
1	オリエンテーション、乳児保育について			「乳児保育Ⅰ」で学んだ内容を復習しておく				
2	乳児保育の理念と概念			実習体験から乳児保育の特徴をまとめる				
3	乳児保育の基礎知識			実習体験から乳児の特徴をまとめる				
4	保育所における乳児保育Ⅰ			実習体験から保育所の特徴をまとめる				
5	保育所における乳児保育Ⅱ			保育所の施設の特徴を理解する				
6	保育所における乳児保育Ⅲ			保育所の施設の役割を理解する				
7	保育所の生活			保育所実習記録などを参考に保育所の一日の流れを理解しておく				
8	観察・記録及び自己評価について			保育所実習記録などを参考に観察・記録等の書き方を復習しておく				
9	生活と遊びの環境			実習記録などを参考に乳児の遊びの姿を復習しておく				
10	乳児がかかわれる手作りおもちゃⅠ			手作りおもちゃの教材案を研究してくる				
11	手作り教材・おもちゃの研究①			手作りおもちゃ教材準備と制作				
12	手作り教材・おもちゃの研究②			手作りおもちゃ制作と完成準備				
13	手作り教材発表と考察①			手作りおもちゃ制作と完成準備				
14	保護者とのパートナーシップ			保育所保育指針第4章を熟読しておく				
15	職員間の協働性の連携 乳児保育の現状を課題			保育所保育指針第5章を熟読しておく				
【購入テキスト】	乳児保育研究会編「乳児の保育新時代」ひとなる書房、2010年発行							
【参考書・資料】	・増田まゆみ編著、「乳児保育[新版]」、北大路書房、2014年 ・保育所保育指針 など							
【成績基準】	定期試験			中間試験	授業内提出物等	ホームワーク提出物等	授業への取組姿勢	その他(具体的に)
	筆記試験	レポート	実技試験					
	60%	%	%					

授業科目名 教職実践演習	授業担当者 大江 まゆ子 大谷 彰子	授業形態 演習	単位数 2単位	配当学年 2年	学期 後期			
【授業の概要】 これまでの短期大学での学びと、実習の場で学んだことを統合し、教育者としての基本的な能力の向上を目指す。また、現代の保育に関する課題について考察し、問題解決のために必要な視点と手立てを事例の検討や教材研究等を通して考える。								
【到達目標】	生きる力	カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシー	<ul style="list-style-type: none"> ・教職についての理解を深め、保育実践者としての知識や能力を身につける。 ・子どもの成長を実現する実践のあり方に関心を持ち、積極的に考えることができる。 ・教育的愛情を持って相手の気持ちを理解し、信頼関係を築いていく力を高める。 ・保育現場で必要な技能、実践的指導力を身に付ける。 				
		A	DPⅢ-3					
		B	DPⅡ-2 DPⅢ-2					
	感じる力	A	DPⅡ-1					
		B	DPⅠ-1 DPⅠ-2					
		C	DPⅢ-1					
	表現する力	A	DPⅡ-3					
		B	DPⅡ-1 DPⅢ-1					
		C	DPⅠ-3 DPⅠ-1 DPⅡ-3					
	【授業計画】							
	授業の内容					授業時間外の学習		
	1	信頼関係を築くコミュニケーション①肯定的な視点をもつ				毎回の授業内外において、学びを生み出す者としての積極的な姿勢をもつこと。		
2	信頼関係を築くコミュニケーション②自己理解と他者理解		事前に配布されるレポートを作成し、授業に臨むこと。					
3	信頼関係を築くコミュニケーション③自己開示と他者受容							
4	子どもの学びを見る視点							
5	幼稚園観察実習		積極的に実践、討議に参加できるよう、これまでの学びを整理しておくこと。					
6	実習記録におけるエピソードから学ぶエピソード分析							
7	子どもと共に育つ保育者像について考える							
8	保育実践力をつける① 教材研究							
9	保育実践力をつける② 立案		これまでの実習日誌（エピソード記録）を授業に必ず持参し、読み返しておくこと。					
10	保育実践力をつける③ 実践							
11	保育実践力をつける④ 振り返り							
12	いのちについて考える		新聞、ニュース等を通じ問題意識を持ち、授業に臨む。					
13	海外の保育環境を学ぶ		新聞、ニュース等を通じ問題意識を持ち、授業に臨む。					
14	理論と実践のつながりを理解する		これまでの実習体験と授業で学んだことを総括して、保育者に必要なものについて語れるように考えをまとめておくこと。					
15	教職に求められるもの		これまでの実習体験と授業で学んだことを総括して、保育者に必要なものについて語れるように考えをまとめておくこと。					
【購入テキスト】								
【参考書・資料】 今井和子著『遊びこそ豊かな学び 乳幼児期に育つ 感動する心と、考え・表現する力』ひとなる書房、2013年発行、1,900円 大宮勇雄著『学びの物語の保育実践』ひとなる書房、2010年発行、1,700円 大宮勇雄著『子どもの心が見えてきたー学びの物語で保育は変わる』ひとなる書房、2011年発行、1,800円								
【成績基準】								
		定期試験		中間試験	授業内提出物等	ホームワーク提出物等	授業への取組姿勢	その他（具体的に）
筆記試験	レポート	実技試験						
%	%	%	%	%	70%	%	30%	%

授業科目名 教育の方法および技術	授業担当者 林 泰子	授業形態 講義	単位数 2単位	配当学年 2年	学期 前期			
【授業の概要】 幼児期の保育方法について、その知識や理論を理解する。そこから、発達段階の未成熟な幼児にとって、成長過程でどのような援助が重要であるかを探究し、幼児期にふさわしい教育の方法と技術を修得する。 また、これらの授業内容をふまえ、保育者としての人間性の育成と、保育現場をはじめ保護者や地域との連携にも活用できるコミュニケーション能力の向上を目的とした方法や技術を実践する。								
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシー		・幼児期の発達段階に適した教育の重要性について説明することができる。 ・人間形成をうながすための働きかけとなる方法・技術について、その目的を説明することができる。 ・演習する方法や技術に積極的に取り組むことができる。 ・問題に対し、自分の意見を論理的に述べることができる。				
	生きる力	B	DPⅡ-2					
			DPⅢ-2					
	感じる力	C	DPⅡ-1					
			DPⅠ-1					
		A	DPⅠ-2					
			B				DPⅢ-1	
C		DPⅡ-3						
【授業計画】			授業の内容	授業時間外の学習				
1	イントロダクション（授業の到達目標・授業の進め方と注意・成績評価の説明・毎回の授業概要）							
2	幼児教育と保育			講義内容をまとめる				
3	個人のレディネスの把握とその手法			講義内容を整理し、次の課題の資料を集める				
4	教育思想と教育方法			講義内容をまとめる				
5	コミュニケーションと人間関係			講義内容をまとめる				
6	幼児期の特徴・遊びの中の学び			講義内容をまとめる				
7	相手の気持ちを受け止める受容的な聴き方			講義内容を整理し、課題レポートを作成する				
8	子どもの主体性を伸ばす援助			講義内容をまとめる				
9	子どもの家庭における幼児教育・保育の実態1（実態調査）			講義内容を整理し、課題レポートを作成する				
10	子どもの家庭における幼児教育・保育の実態2（調査発表）			講義内容をまとめる				
11	保育現場と家庭、地域、小学校との連携			プレゼンテーション課題の準備				
12	人間関係を円滑に保つコミュニケーションの手法			プレゼンテーション課題の準備				
13	課題解決の手法（ロジックツリーを用いた課題解決1）			プレゼンテーション課題の準備				
14	課題解決の手法（ロジックツリーを用いた課題解決2）			プレゼンテーションのまとめ				
15	プレゼンテーション、総括			プレゼンテーション結果のまとめ				
【購入テキスト】	適宜、資料を配布する。							
【参考書・資料】	『コミュニケーション実践学（改訂版）』沖裕貴・林徳治編著、ぎょうせい							
【成績基準】	定期試験			中間試験	授業内提出物等	ホームワーク提出物等	授業への取組姿勢	その他 (授業内・ホームワークの提出物等)
	筆記試験	レポート	実技試験					
	40%	%	%					

授業科目名 教育相談の理論・方法	授業担当者 山田 理恵子	授業形態 講義	単位数 2単位	配当学年 2年	学期 後期				
【授業の概要】 問題行動・障害をもつ子どもとその保護者への適切なかわり方を身につけるため、 問題行動や障害の理解と対応について心理学的知見と技法を学ぶ。									
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー 生きる力	A	DPⅢ-3	カウセリング理論に基づいた、子どもや保護者の理解と対応ができる。 対人援助職としてのコミュニケーションスキルを向上させる。					
	感じる力	A	DPⅠ-1						
		B	DPⅢ-1						
	表現する力	A	DPⅡ-1						
			DPⅢ-1						
		C	DPⅠ-1						
					DPⅡ-3				
【授業計画】			授業の内容	授業時間外の学習					
1	教育相談の目的・形態・進め方			第1～5回では、毎時間、おもに授業内容に関する小テストを実施する。または、テーマや事例について私見を記述し提出する。					
2	学習指導・人格形成・進路指導の領域								
3	遊戯療法								
4	行動療法								
5	内観療法								
6	カウセリングの目的と進め方			第6～9回では、カウセリングの演習をペアまたはグループで行うので、演習ノートがホームワークとなる。					
7	カウセリングにおける人間観								
8	カウセリングを必要とする人								
9	カウンセラーの基本的姿勢と態度								
10	YG性格検査の実施と診断			第10～12回では、心理テストを実施するので、その結果の処理や診断はレポートとして提出。					
11	K式検査の実施と診断								
12	親子関係診断テストの実施と診断								
13	ADHD			第13・14回では、発達障害の事例研究のため、資料をよく読み、授業に臨むこと。					
14	自閉症								
15	まとめ			疑問点など質問を考えておく。					
【購入テキスト】		その都度、資料を配付する。							
【参考書・資料】		必要に応じ紹介する。							
【成績基準】		定期試験			中間試験	授業内	ホームワーク	授業への	その他
		筆記試験	レポート	実技試験		提出物等	提出物等	取組姿勢	(小テストなど)
		%	%	%	%	50%	20%	%	30%

授業科目名	授業担当者	授業形態	単位数	配当学年	学期				
保育相談支援	片岡 章彦	演習	1単位	2年	前期				
【授業の概要】									
現代社会における家族や地域の変化、それに伴う子育ての変容について知り、保育相談支援の必要性とその方法を理解する。特に本授業では、保育現場での実際の事例を多用し、子育ての悩み、親の抱える苦悩とその背景についての考察を行うと共に、グループワークを通して、保育相談における保育者に求められる役割を感じられるようにする。また、保育ソーシャルワークの考え、技法についても学び、保育相談・支援の実践者になる為のスキルを身につける。									
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシー	現代社会における家族の状況の変化に伴う、子育ての変容と問題点について知り、現代社会における子育ての問題点に伴う保育相談支援の必要性について考える。						
	生きる力	C	DPⅡ-1	保育相談支援のさまざまな方法や技法について知り、積極的にワークに参加し、知見を深める。					
	感じる力	A	DPⅠ-1						
			DPⅠ-2						
表現する力	C	DPⅡ-3	保育ソーシャルワークの考えと技法を身につける。						
【授業計画】			授業の内容			授業時間外の学習			
1	現代社会における家族の状況の変化と、それに伴う子育ての変容			育児に関する社会問題についてレポート作成					
2	ソーシャルスキル グループワーク「情報交換」			グループワークについての振り返りレポート作成					
3	ソーシャルスキル グループワーク「考えを話し合う」			グループワークについての振り返りレポート作成					
4	保護者支援とは① 保護者を支える			保護者の抱える問題についてレポート作成					
5	保護者支援とは② 保護者のニーズと困りごと			保護者対応についてレポート作成					
6	保護者との関わり① 保護者との信頼関係			保護者との信頼関係の築き方についてレポート作成					
7	保護者との関わり② 子どもを見つめる目			子ども理解と保護者支援についてレポート作成					
8	保護者の心に寄り添う① 保護者目線のもう一歩先を見る			保護者理解に関するレポート作成					
9	保護者の心に寄り添う② 共感性			保護者の困りごとに対する保育者の対応の仕方についてレポート作成					
10	保育者のソーシャルワーク実践① ソーシャルワークとは			ソーシャルワークについて予習しておく					
11	保育者のソーシャルワーク実践② ソーシャルワークの技法			ソーシャルワークと保育の関連についてレポート作成					
12	保育者に必要なコミュニケーションスキル① 保育者の思いを伝える			保育者と保護者のコミュニケーション					
13	保育者に必要なコミュニケーションスキル② 非言語的コミュニケーション			ロールプレイについての振り返りレポートの作成					
14	特別な支援が必要な子どもの保護者支援① ソーシャルワークの活用			特別な支援が必要な子どもの様々な行動の仕方について予習しておく					
15	特別な支援が必要な子どもの保護者支援② 支援とは			保育相談支援について学び、生かしていきたいことについてレポート作成					
【購入テキスト】		必要に応じて資料を配布							
【参考書・資料】		保育士・幼稚園教諭のための保護者支援(風鳴社) 新保育ライブラリ保育相談支援(北大路書房) 相談支援ワークブック(学文社) 保護者支援スキルアップ講座(ひかりのくに)							
【成績基準】		定期試験			中間試験	授業内	ホームワーク	授業への	その他
	筆記試験	レポート	実技試験		提出物等	提出物等	取組姿勢	(具体的に)	
	%	%	%	%	40%	40%	20%	%	

授業科目名		授業担当者		授業形態	単位数	配当学年	学期				
社会的養護内容		木下 隆志		演習講義	2単位	2年	後期				
【授業の概要】											
社会的養護における児童の権利擁護や保育士等の倫理についての具体、施設養護及び他の社会的養護の実際等を学び、次いで個々の児童に応じた支援計画を作成し、様々な支援事例を分析しながら社会的養護内容を学ぶ。社会的養護内容にかかわる専門的技術を学ぶことを通じて、社会的養護内容の課題と展望を考察する。											
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシー		現場でどのように子どもの権利を守り、どのように自立支援を行うのか、望ましい養護を希求する「保育士」の姿勢を身につける。さらに、子どもが抱える問題をより正確に分析し、実践に結び付ける力を養うことを目標とする。							
	生きる力	C	DPⅡ-1								
	感じる力	A	DPⅠ-1								
			DPⅠ-2								
表現する力	C	DPⅠ-1									
		DPⅡ-3									
【授業計画】				授業の内容				授業時間外の学習			
1	今日の養護問題と保育士				養護問題における保育士の役割 p13-p16						
2	児童福祉施設のこどもたち				児童福祉施設の現状と課題 p17-p22						
3	里親制度の現状と課題				家庭養育について考える p23-p27						
4	新しい施設養護の理念・施設養護のプロセスの理解				権利擁護を理解する p28-p34 事例検討						
5	施設養護のプロセスに求められる視点				対象者を理解する p35-p44						
6	社会的養護における基本的な援助・支援 日常生活援助				中間テスト1 p46-p52						
7	社会的養護における基本的な援助・支援 学習・余暇活動・家庭調整				連携と多職種協同を理解する p52-p56						
8	障害児入所施設における生活支援				生活プログラムを理解する p57-p61						
9	こころの援助 愛着形成など				意図的なコミュニケーション p64-p81						
10	親子関係の援助				パートナーシップを築く援助 p83-p98						
11	地域学校との関係づくり・整備の援助				学校との連携 p99-p107						
12	子育て支援事業				中間テスト2 地域との協力 p108-p115						
13	自立について考える				人材育成、運営を学ぶ p136-p152						
14	児童福祉施設の職員倫理				援助者としての資質 p155-p166						
15	保育士に求められること まとめ				総括を行う						
【購入テキスト】		保育士をめざす人の社会的養護内容 辰巳隆・岡本慎幸 編著 みらい									
【参考書・資料】											
【成績基準】		定期試験			中間試験	授業内提出物等	ホームワーク提出物等	授業への取組姿勢	その他(具体的に)		
		筆記試験	レポート	実技試験							
		50%	%	%	20%	%	20%	10%	%		

授業科目名 保育の表現技術・身体 I		授業担当者 西條 喜博		授業形態 演習	単位数 1 単位	配当学年 2 年	学期 前期		
【授業の概要】 乳幼児期の運動遊びの重要性を理解し、様々な運動あそびを実践することにより適切な実技指導ができるようにする。また、乳幼児の特性を知りどういった「あそび」を楽しめるのか、どうすれば身体を動かすことが好きになるのかを考えながら、保育者としての運動の指導方法を身につける。									
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー		ディプロマ・ポリシー		<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の運動あそびの重要性を理解することができる。 ・運動あそびを教育的な観点から捉え、指導を考えることができる。 ・運動あそびの関心を持ち、創意工夫していこうとする。 ・指導者として、自ら身体を動かし運動あそびを指導することができる。 				
	生きる力	C	DPⅡ-1						
	感じる力	C	DPⅡ-3						
【授業計画】				授業の内容		授業時間外の学習			
1	授業オリエンテーション 授業計画の説明、評価の仕方、ノートの作成方法など			授業計画を確認しておく。					
2	幼児体育とは			前回配布プリントを読んで、授業に参加する。					
3	運動能力を高める基本運動			配布プリントを読んでおく					
4	触れ合い体操			事前に動画をみておく。					
5	リズム体操			どんなリズム体操があるか、事前に調べておく。					
6	リズム体操 発表会			グループごとにリズム体操を創作して、発表する。					
7	マット運動			マットについて学んでおく。					
8	跳び箱運動			跳び箱について学んでおく。					
9	鉄棒運動			鉄棒について学んでおく。					
10	鬼ごっこあそび			どんな鬼ごっこがあるかを事前に調べておく。					
11	鬼ごっこあそび グループ発表			グループごとに、鬼ごっこを創作し発表する。					
12	ボールあそび			ボールの特性を学んでおく。					
13	ボールあそび2			ボールの特性を学んでおく。					
14	縄あそび			縄についての特性を学んでおく。					
15	縄あそび2			縄についての特性を学んでおく。					
【購入テキスト】		必要に応じて資料を配布する。							
【参考書・資料】		必要に応じて、紹介する。							
【成績基準】 積極的な授業の関わり方、レポートの提出。		定期試験			中間試験	授業内 提出物等	ホームワーク 提出物等	授業への 取組姿勢	その他 (具体的に)
		筆記試験	レポート	実技試験					
		%	30%	30%	%	20%	%	20%	%

授業科目名 保育の表現技術・身体Ⅱ		授業担当者 西條 喜博		授業形態 演習	単位数 1単位	配当学年 2年	学期 後期		
【授業の概要】 乳幼児期の運動遊びの重要性を理解し、様々な運動あそびを実践することにより適切な実技指導ができるようにする。また、乳幼児の特性を知りどういった「あそび」を楽しめるのか、どうすれば身体を動かすことが好きになるのかを考えながら、保育者としての運動の指導方法を身につける。									
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー		ディプロマ・ポリシー		<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の運動あそびの重要性を理解することができる。 ・運動あそびを教育的な観点から捉え、指導を考えることができる。 ・運動あそびの関心を持ち、創意工夫していこうとする。 ・指導者として、自ら身体を動かし運動あそびを指導することができる。 				
	生きる力	B	DPⅡ-2						
	感じる力	B	DPⅢ-1						
【授業計画】				授業の内容	授業時間外の学習				
1	パラバルーンあそび				パラバルーンについての特性を学んでおく。				
2	サーキットあそび				サーキットあそびの特性を学んでおく。				
3	サーキットあそび				グループごとにサーキットあそびを考え、発表する。				
4	運動能力と運動スキル				配布したプリントを読んでおく。				
5	運動能力の測定				配布したプリントを読んでおく。				
6	発達障がい児の体育指導				配布したプリントを読んでおく。				
7	指導計画と指導案				指導案の書き方や、計画の仕方を事前に調べておく。				
8	体育あそび発表会1				グループごとに体育あそびを行う。事前準備をしておく。				
9	体育あそび発表会2				グループごとに体育あそびを行う。事前準備をしておく。				
10	体育あそび発表会3				グループごとに体育あそびを行う。事前準備をしておく。				
11	運動会の企画と運営方法				配布したプリントを読んでおく。				
12	運動会の企画と運営1				グループごとに運動会を企画し、発表する準備を行う。				
13	運動会の企画と運営2				グループごとに運動会を企画し、発表する準備を行う。				
14	運動会の企画と運営3				グループごとに運動会を企画し、発表する準備を行う。				
15	まとめ				実際に使用したノートを読んでおく。				
【購入テキスト】		幼児体育 初級 日本幼児体育学会							
【参考書・資料】		必要に応じて、紹介する。							
【成績基準】 積極的な授業の関わり方、レポートの提出。		定期試験			中間試験	授業内 提出物等	ホームワーク 提出物等	授業への 取組姿勢	その他 (具体的に)
		筆記試験	レポート	実技試験					
		%	30%	30%	%	20%	%	20%	%

授業科目名 保育の表現技術・言語		授業担当者 山田 理恵子		授業形態 演習	単位数 1単位	配当学年 2年	学期 後期		
【授業の概要】 言語表現に関する知識や技術を学び、保育の環境構成や展開に生かすための実践演習を行う。									
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー		ディプロマ・ポリシー		言語文化財を使って、自己表現力と保育実践力を向上させる。				
	表現する力	A	DPⅡ-1						
			DPⅢ-1						
	B	DPⅠ-3							
【授業計画】				授業の内容	授業時間外の学習				
1	言葉のしくみとその機能			毎時間、次の授業の資料を配付するので、熟読しておくこと。					
2	領域「言葉」								
3	子どもの言葉の発達－言葉の土壌－			第3回から～8回までは事例を通しての学習なので、疑問点や自分としての考えを持って授業に臨むこと。					
4	子どもの言葉の発達－乳児期－								
5	子どもの言葉の発達－幼児前期－								
6	子どもの言葉の発達－幼児後期－								
7	子どもの言葉の指導－言葉が出るまで－								
8	子どもの言葉の指導－言葉が出てから－								
9	児童文化財の保育への展開－絵本－			第9回～12回はグループによる実践発表を行うので、準備をして授業に臨むこと。					
10	児童文化財の保育への展開－紙芝居－								
11	児童文化財の保育への展開－パネルシアター－								
12	児童文化財の保育への展開－素話－								
13	言葉の障害とは			次の授業の資料を配付するので、熟読しておくこと。					
14	言葉の遅れと指導			次の授業の資料を配付するので、熟読しておくこと。					
15	まとめ			疑問点など質問を考えておく。					
【購入テキスト】		その都度、資料を配付する。							
【参考書・資料】		必要に応じて紹介する。							
【成績基準】		定期試験			中間試験	授業内提出物等	ホームワーク提出物等	授業への取組姿勢	その他 (グループ発表)
		筆記試験	レポート	実技試験					
		%	%	%					

授業科目名	授業担当者	授業形態	単位数	配当学年	学期			
教育実習（事前事後指導）	大江 まゆ子 岸本 朝予 西條 喜博	演習	1 単位	2 年	前期			
【授業の概要】								
教育実習を円滑に進めるための知識を確認し、責任実習に必要な教材研究や指導計画について学び、実習における自己課題を明確にする。また、グループワークや模擬保育の実践等を通して、保育者としてのよりよいかかわり、実践について考え、子どもの成長を豊かにする保育の知識と技術の獲得を目的とする。								
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシー	A	DPⅢ-3	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習の意義や目的、心得、また、幼児教育者としての資質を理解する。 ・多面的な角度から事象を捉え、判断する力を身につける。 ・積極的に物事を捉え、取り組み、常に自らの感性を磨く努力をする。 ・幼児とかかわり、実践を行うことへの責任感をもつ。 ・教材研究、指導案作成、模擬保育の実践を行い、保育実践に必要な基礎的技能を身につける。 			
			生きる力	B		DPⅡ-2 DPⅢ-2		
				C		DPⅡ-1		
	感じる力	A	DPⅠ-1 DPⅠ-2					
		B	DPⅢ-1					
		C	DPⅡ-3					
	表現する力	A	B	DPⅡ-1 DPⅢ-1				
				DPⅠ-3				
		C	D	DPⅠ-1 DPⅡ-3				
		【授業計画】				授業の内容	授業時間外の学習	
		1	教育実習の意義、目的、形態や方法、心得	※2 回目の授業以降、前回の授業のワークシートを完成させ、提出すること。				
2	指導案の書き方、教材研究と活動の展開	年齢、発達段階をふまえ、教材研究を行う。1 年次に学んだ指導案の書き方を復習しておくこと。						
3	指導案作成	模擬保育の実施に向け、指導案作成、必要物の準備を行う。						
4	指導案作成	模擬保育の実施に向け、指導案作成、必要物の準備を行う。						
5	模擬保育	担当者は模擬保育の準備を事前に行い、当日は保育者として模擬保育を行えるよう備える						
6	模擬保育	担当者は模擬保育の準備を事前に行い、当日は保育者として模擬保育を行えるよう備える						
7	模擬保育	担当者は模擬保育の準備を事前に行い、当日は保育者として模擬保育を行えるよう備える						
8	模擬保育の振り返りと指導案作成の基本（書く意味、書き方とポイント）	各自指導案と模擬保育の振り返りをしておく						
9	指導案、日案作成の基本（書く意味、書き方とポイント）	模擬保育と授業の振り返りをしておく						
10	実習記録の書き方（書く意味、書き方とポイント）	1 年次に学んだ実習記録の書き方を復習しておくこと。						
11	幼稚園教諭の役割、幼児とかかわるということ	指導案、実習記録の書き方と書く意味を理解しておく						
12	自己課題の設定と実習目的の明確化	各自教育実習の自己課題と目的を明確にする						
13	実習体験の振り返りと共有、実習の自己評価	実習体験を振り返り、学びを整理しておくこと。						
14	実習園での評価と自己評価	実習における自己評価を必ず行っておくこと。						
15	実習の総括と自己課題の明確化	実習の評価を踏まえて、実践での自己課題を明確にする						
【購入テキスト】	開仁志編『実習日誌の書き方』一藝社、2012 年発行、2200 円							
【参考書・資料】	文部科学省『幼稚園教育要領』フレーベル館、2008 年発行版、2017 年発行版 文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館、2008 年発行、など							
【成績基準】	定期試験			中間試験	授業内 提出物等	ホームワーク 提出物等	授業への 取組姿勢	その他 (具体的に)
	筆記試験	レポート	実技試験					
	%	60%	%					

授業科目名 教育実習	授業担当者 大江 まゆ子 岸本 朝予	授業形態 実習	単位数 4単位	配当学年 1・2年	学期 前期		
【授業の概要】 講義や演習で学んだ基礎的な知識や技術をもとに、教育実習を行い、実践的に学ぶ。実際の子どもの姿から、その場に応じたかかわりを模索し、保育の理論や方法論を活用、応用する過程で、自らの保育の知識、技術を深める力を身につけることを目的とする。							
【到達目標】	生きる力	カリキュラム・ポリシー A	ディプロマ・ポリシー DPⅢ-3	・幼児の実態、幼稚園の目的や機能、幼稚園教諭の職務について理解し、幼稚園教諭としての実践的指導力の基礎を身につける。 ・個々の幼児の姿から内面を受け止め、個と集団へのかかわりという観点を持ち、保育実践に取り組む。 ・謙虚な気持ちと新鮮で前向きな気持ちを持ち、幼稚園教諭として常に学び、成長する努力を続ける。 ・幼児教育者としての資質を理解し、強い意志と自覚をもち、感性を磨く。			
		B	DPⅡ-2 DPⅢ-2				
		C	DPⅡ-1				
	感じる力	A	DPⅠ-1				
		B	DPⅠ-2 DPⅢ-1				
		C	DPⅡ-3				
	表現する力	A	DPⅡ-1 DPⅢ-1				
		B	DPⅠ-3				
		C	DPⅠ-1 DPⅡ-3				
	【授業計画】			授業の内容	授業時間外の学習		
	実習先では、担当指導教諭の指導のもと、積極的に実習を行い、幼児および幼稚園教育への理解を深めるとともに、幼稚園教諭としての基礎的な実践的指導力を身につける。 1. 1週間目の実習—実習園において、主に「観察」が中心となる。 ・一日の流れを把握する。 ・その園の幼児の実態を知る。 ・園庭・園舎などの施設・設備の概要や、園内外の環境を把握する。 ・保育者の幼児へのかかわりに学ぶ。 2. 2週間目の実習—担当教諭の指導のもと、部分的に幼児とかかわる。 ・担当教諭の指導のもと、クラス担任としての仕事の一部を担う。 ・遊具やその周辺の安全点検、清掃などを行う。 ・保育室の環境構成、教材、教具の整理や準備をする。 3. 3週目の実習—「部分実習」や「設定保育」等の保育活動を実施する。 ・担当教諭の指示を仰ぎながら、毎日の日誌の他に「指導案」の作成、提出を行う。 ・指導的立場を担って幼児の指導にかかわる。 4. 4週目の実習—最終週となり、上記の実習体験をふまえて総合的指導を行う。 ・「半日実習」、「全日実習」を実施する。			事前に実習先の沿革や保育方針などを調べ、レポート作成を行う。 入学時からこれまでの授業内容の復習と、教育実習事前授業の内容を振り返り、年齢ごとの発達の把握や、実習記録、指導案などの書き方のポイントを再度、押さえておく。 実習課題を明確に持ち、自分なりの目標を設定して積極的に臨むこと。 実習中は、毎日、実習日誌を作成し、翌朝に提出する。実習記録を作成する過程で、自らの実習を省察し、新たな気付きと翌日の実習のねらいを設定する。			
	【購入テキスト】						
【参考書・資料】			文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館、2008年発行、190円 など				
【成績基準】			中間評価	実習先評価	実習日誌	提出物等	その他(具体的に)
			10 %	40 %	30 %	20 %	(成績基準欄)100%

授業科目名	授業担当者			授業形態	単位数	配当学年	学期				
保育実習指導Ⅱ	大谷 彰子 木下 隆志 西條 喜博			演習	1単位	2年	前期				
【授業の概要】											
2度目の保育所実習に向け自己課題を明確にし、部分・全日実習に向け、指導計画の理解、作成、模擬保育を通し、保育実践力を身に付ける。実習後の省察と課題をグループワークで考察し、実習での学びを共通理解するとともに、保育士としての資質と意識を高め保育士としての専門性を培う。また、家庭や地域の子ども家庭福祉ニーズの実態を知り、子育て支援に必要な能力を養う。											
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー		ディプロマ・ポリシー		保育所の役割や家庭支援について理解を深めることができる。						
	生きる力	B	DPⅡ-2		授業や実習を踏まえ、子どもの発達や保育者の役割を総合的に理解する。						
			DPⅢ-2								
	感じる力	A	DPⅠ-1		保育の計画、実践、記録、省察などに取り組み理解を深める。自らの課題を明確にし、専門職を志す者として向上心を持ち続ける。						
DPⅠ-2											
【授業計画】				授業の内容				授業時間外の学習			
1	保育実習Ⅱの目標と意義 施設実習の振り返り 省察と課題				施設実習の学び・振り返りをまとめ次週提出のこと。						
2	保育指導案の作成①				保育指導案を作成する。 指導案に合わせ教材研究を行う。						
3	保育指導案を作成②				保育指導案を作成する。 指導案に合わせ教材研究を行う。						
4	模擬保育の発表①				十分な模擬保育の事前準備を行い授業に参加のこと。						
5	模擬保育の発表②				模擬保育の反省を踏まえ指導案を修正し次週提出のこと。						
6	模擬保育の発表③				模擬保育の反省を踏まえ指導案を修正し次週提出のこと。						
7	保育実習Ⅱに向けて実習事後指導				保育実習Ⅱに向けての準備（子どもの発達理解や部分実習の指導案の作成）						
8	実習事後指導 省察、総括、課題の確認				実習の自己評価・省察のレポートを作成する。						
9	保育士に向けて①小論文の書き方				授業で出された課題を行う。						
10	保育士に向けて②面接の受け方				授業で出された課題を行う。						
11	附属幼稚園での保育の立案と準備①				保育の指導案作成と教材研究を行い授業に参加のこと。						
12	附属幼稚園での保育の立案と準備②				保育の指導案作成と教材研究を行い授業に参加のこと。						
13	附属幼稚園での保育と振り返り				授業で出された課題を行う。						
14	設定保育アイデア集作成				設定保育で行える保育案を学習し、レポートを作成のこと。						
15	まとめ										
【購入テキスト】											
【参考書・資料】								開仁志編著「保育指導案大百科事典」一藝社			
【成績基準】											
				定期試験		中間試験	授業内提出物等	ホームワーク提出物等	授業への取組姿勢	その他（具体的に）	
筆記試験		レポート		実技試験							
40%		%		%		%	20%	30%	10%	%	

授業科目名 保育実習Ⅱ		授業担当者 大谷 彰子 木下 隆志		授業形態 実習	単位数 2単位	配当学年 2年	学期 前期		
【授業の概要】 保育所保育を実践に実践し、保育士として必要な資質・能力・技術を習得する。家庭と地域の実態に触れて、家庭福祉のニーズに対する理解力、判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる能力を養う。指導計画を立案し実践する。子どもやその家族とのコミュニケーションの方法を具体的に習得する。									
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー		ディプロマ・ポリシー		保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深める。既習の教科や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び保護者支援について総合的に学ぶ。保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価等について実際に取り組み、理解を深める。保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。保育士としての自己の課題を明確化する。				
	生きる力	B	DPⅡ-2						
			DPⅢ-2						
感じる力	C	DPⅡ-3							
【授業計画】				授業の内容		授業時間外の学習			
<p>〈保育所における実習〉 実習時間：おおむね 10 日</p> <ol style="list-style-type: none"> 保育所の役割や機能の具体的展開 <ul style="list-style-type: none"> 養護と教育が一体となって行われる保育 保育所の社会的役割と責任 観察に基づく保育理解 <ul style="list-style-type: none"> 子どもの心身の状態や活動の観察 保育士等の動きや実践の観察 保育所の生活や流れや展開の把握 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会との連携 <ul style="list-style-type: none"> 環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育の理解 入所している子どもの保護者支援及び地域の子育て家庭への支援 地域社会との連携 指導計画の作成、実践、観察、記録、評価 <ul style="list-style-type: none"> 保育課程に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解 作成した指導計画に基づく保育実践と評価 保育士の業務と職業倫理 <ul style="list-style-type: none"> 多様な保育の展開と保育士の業務 多様な保育の展開と保育士の職業倫理 自己の課題の明確化 				<p>実習を行う保育所を決定する。</p> <p>実習までに実習先でのオリエンテーションに参加する。</p> <p>保育所保育指針などを読み、保育のねらいなどを把握する。</p> <p>幼児の年齢ごとの発達を理解しておく。</p> <p>資料、本などで教材研究を行い、指導案を準備しておく。</p> <p>保育現場で使える手作り教材を準備しておく。</p>					
【購入テキスト】									
【参考書・資料】									
【成績基準】		定期試験			中間試験	授業内 提出物等	ホームワーク 提出物等	授業への 取組姿勢	その他 (具体的に)
実習日誌	20%	筆記試験	レポート	実技試験					
		%	%	%	10%	10%	10%	10%	40 %

授業科目名 卒業研究（音楽ゼミ）		授業担当者 阪本 朋子		授業形態 演習	単位数 2単位	配当学年 2年	学期 通年(前期)				
【授業の概要】											
楽曲に親しみ、演奏する事を目的に取り組む。基本はピアノ演奏法の授業であるが、ピアノ以外の楽器や声楽分野で演奏する事も認める。楽譜に表された音楽をあらゆる角度から読み取り、作曲家の感情的世界や、知的世界に触れ、より深く音楽を理解し、演奏に役立てる。希望者多数の場合は抽選。											
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー		ディプロマ・ポリシー		楽譜を正確に読み取ることができる。楽譜に書かれている情報から音楽を引き出すための読譜力とそれを再現する表現力を身につけることができる。						
	生きる力	A	DPⅢ-3								
	感じる力	A	DPⅠ-2								
	表現する力	B	DPⅠ-3								
【授業計画】				授業の内容				授業時間外の学習			
1	ガイダンス どのような音楽に取り組みたいかを話し合う				楽曲を選曲する						
2	受講生の技量に応じた楽曲を選曲				候補曲を数曲提出する						
3	基礎演習1 個人レッスン 選定した曲の特徴を知る				選定曲を譜読みする						
4	基礎演習2 個人レッスン 技術的な課題にいかに取り組むかを考える①				自分に合った練習方法を試す						
5	基礎演習3 個人レッスン 技術的な課題にいかに取り組むかを考える②				自分に合った練習方法を試す						
6	基礎演習4 個人レッスン 技術的な課題にいかに取り組むかを考える③				自分に合った練習方法を試す						
7	基礎演習5 個人レッスン 技術的な課題にいかに取り組むかを考える④				部分練習で更に細かく練習する						
8	基礎演習6 個人レッスン 技術的な課題にいかに取り組むかを考える⑤				部分練習で更に細かく練習する						
9	中間まとめ										
10	総合演習1 どのように表現するかを考える				ミニコンサートに向けて準備する						
11	総合演習2 どのように表現するかを考える				ミニコンサートに向けて準備する						
12	総合演習3 どのように表現するかを考える				ミニコンサートに向けて準備する						
13	総合演習4 どのように表現するかを考える				ミニコンサートに向けて準備する						
14	総合演習5 どのように表現するかを考える				ミニコンサートに向けて準備する						
15	前期総括 前期まとめ				ミニコンサート参加						
【購入テキスト】		受講生それぞれに指示する。									
【参考書・資料】											
【成績基準】		定期試験			中間試験	授業内提出物等	ホームワーク提出物等	授業への取組姿勢	その他(具体的に)		
ミニコンサートを含めて総合評価		筆記試験	レポート	実技試験							
		%	%	%	%	%	%	自宅等での事前練習50%	ミニコンサート参加 50%		

授業科目名 卒業研究（音楽ゼミ）		授業担当者 阪本 朋子		授業形態 演習	単位数 2単位	配当学年 2年	学期 通年(後期)		
【授業の概要】 前期のアプローチをさらに深め、卒業演奏会に向けて、充実した取り組みを継続する。受講生が選択した楽曲に基づき、要求される技術と表現力を育成する。									
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー		ディプロマ・ポリシー		生涯学習の位置づけとして、楽曲と深く関わる事が出来る。さまざまなジャンルの音楽の美しさ・楽しさを見つけることができる。				
	生きる力	A	DPⅢ-3						
	感じる力	A	DPⅠ-2						
	表現する力	B	DPⅠ-3						
【授業計画】				授業の内容		授業時間外の学習			
1	ガイダンス 卒業演奏会に向けて、候補曲を2～3曲選曲する				卒業に向けて取り組みたい課題を考える				
2	楽曲の選定 取り組み方法を話し合う。技量を考慮して選曲する				課題曲の予習				
3	演奏法1 楽曲全体の構成を捉える				課題曲の予習				
4	演奏法2 楽曲の表情を捉える				課題曲の予習				
5	演奏法3 楽曲のテンポと強弱の表現上の注意				課題曲の予習				
6	演奏法4 楽曲のもつ和音（ハーモニー）のニュアンスに注意する				課題曲の予習				
7	演奏法5 作品を深く知る				課題曲の予習（図書館活用）				
8	演奏法6 楽曲の細部と全体の調和を図る				課題曲の予習				
9	演奏法7 音楽的、技術的に留意すべき事を指摘				課題曲の予習				
10	演奏法8 克服すべき課題を再確認する				課題曲の予習				
11	卒業演奏会に向けて1				暗譜の準備				
12	卒業演奏会に向けて2 基礎練習を再度入念に行う				暗譜の準備				
13	卒業演奏会に向けて3 暗譜演奏の練習・今後の課題や練習上の留意点				暗譜の確認				
14	卒業演奏会に向けて4 暗譜演奏の練習・表現の発展と展開について考える				リハーサルを行う				
15	卒業演奏会出演				舞台衣装、舞台メイクの準備				
【購入テキスト】		受講生それぞれに指示する。							
【参考書・資料】									
【成績基準】		定期試験			中間試験	授業内 提出物等	ホームワーク 提出物等	授業への 取組姿勢	その他 (具体的に)
		筆記試験	レポート	実技試験					
		%	%	%	%	%	%	自宅等での 事前練習 50%	卒業演奏会の成果 50%

授業科目名 卒業研究	授業担当者 木下 隆志	授業形態 演習	単位数 2単位	配当学年 2年	学期 通年(前期)			
【授業の概要】 1年間の学びの集大成として、映像記録、PV（プロモーションビデオ）作成を行う。動画は1年間のボランティアや現地調査（フィールドワーク）の動画を編集し、学びの目的に沿って作成する。 例：あいらん地区の子育て支援：スラム街の様子、近隣のインタビューやコミュニティの様子と、そこに居住する親子を支援する保育園や幼稚園のサポートについて、音楽を入れながら、PVを作成する「課題発見、テーマ設定、フィールド把握、問題解決の流れに沿って作成する。前期は中間報告用のPV作成を行う。								
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー		ディプロマ・ポリシー	卒業研究前半の到達目標は、学びを可視化することである。 具体的な出来事をストーリーに沿って表現できるようにしてほしい。				
	感じる力	B	DPⅢ-1					
	表現する力	A	DPⅢ-1					
【授業計画】			授業の内容	授業時間外の学習				
1	ゼミのオリエンテーション			練習用PV計画の作成				
2	PVについての基礎知識を調べる			基本ソフトの確認				
3	練習用に出来事についての写真や文字を見つける1			PV10枚の資料収集				
4	練習用に出来事についての写真や文字を見つける2			PV10枚の資料収集				
5	練習用PVの作成1			音楽の選定				
6	練習用PVの作成2			発表用PV作成				
7	練習用PVの発表			中間発表1				
8	テーマ設定1			本番用テーマを決める1				
9	テーマ設定2			本番用テーマを決める2				
10	PV企画書作成1			本番用企画の検討1				
11	PV企画書作成2			本番用企画の検討2				
12	PV企画書作成3			本番用企画の検討3				
13	実施検証1			フィールド調査1				
14	実施検証2			フィールド調査2				
15	中間発表（ゼミ内）			中間評価を相互に行う				
【購入テキスト】	テキストはないが、パソコン操作ができる方、取材を意欲的にできる方が望ましい							
【参考書・資料】								
【成績基準】	定期試験			中間試験	授業内 提出物等	ホームワーク 提出物等	授業への 取組姿勢	その他 (具体的に)
	筆記試験	レポート	実技試験					
	%	%	%					

授業科目名 卒業研究	授業担当者 木下 隆志	授業形態 演習	単位数 2単位	配当学年 2年	学期 通年(後期)			
【授業の概要】 1年間の学びの集大成として、映像記録、PV（プロモーションビデオ）作成を行う。動画は1年間のボランティアや現地調査（フィールドワーク）の動画を編集し、学びの目的に沿って作成する。 例：あいりん地区の子育て支援：スラム街の様子、近隣のインタビューやコミュニティの様子と、そこに居住する親子を支援する保育園や幼稚園のサポートについて、音楽を入れながら、PVを作成する「課題発見、テーマ設定、フィールド把握、問題解決の流れに沿って作成する。後期は最終報告用のPV作成を行う。								
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシー	卒業研究発表会における完成度が最終的な評価につながるため、各自のテーマを突き詰めて、映像というツールを使って表現力を身に着けてほしい。					
	感じる力	B				DPⅢ-1		
	表現する力	A				DPⅢ-1		
【授業計画】			授業の内容	授業時間外の学習				
1	企画書の再確認1			最終の企画書を検討する				
2	企画書の再確認2			企画書最終盤を作成する				
3	写真や文字の選定1			動画素材の検討1				
4	写真や文字の選定2			動画素材の検討2				
5	写真や文字の選定3			動画素材の検討3				
6	音楽選定とPV案作成1			音楽とのマッチングを確認1				
7	音楽選定とPV案作成2			音楽とのマッチングを確認2				
8	音楽選定とPV案作成3			音楽とのマッチングを確認3				
9	PV作成			全体調整1				
10	PV作成			全体調整2				
11	PV作成			全体調整3				
12	最終報告用PV発表準備1			最終盤案発表1				
13	最終報告用PV発表準備2			最終盤案発表2				
14	最終報告用PV発表練習			最終盤案発表3				
15	報告会			最終報告				
【購入テキスト】								
【参考書・資料】								
【成績基準】	定期試験			中間試験	授業内提出物等	ホームワーク提出物等	授業への取組姿勢	その他 (具体的に)
	筆記試験	レポート	実技試験					
	%	%	%					

授業科目名 卒業研究		授業担当者 大江 まゆ子		授業形態 演習	単位数 2単位	配当学年 2年	学期 通年(前期)				
【授業の概要】											
保育者を志す者として、子ども、保育にかかわる諸問題に問題意識を持ち、自ら研究テーマを設定する。研究テーマ設定までには、あるテーマを定めて意見交換を行う等、学び合う雰囲気的大事に進めていく。テーマ設定の後、研究計画を立て、研究・発表を行う。											
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー		ディプロマ・ポリシー		<ul style="list-style-type: none"> 子ども、保育への諸問題に関する問題意識と知識を持つ。 多面的な視野を持ち、思考、判断する態度を身につける。 他者の意見に耳を傾け、生産的に意見交換することができる。 自らの関心を積極的に探究し、考えをまとめ、わかり易く伝えることに面白さを感じ、効果的に伝える力を身につける。 						
	生きる力	A	DPⅢ-3								
	感じる力	B	DPⅢ-1								
	表現する力	A	DPⅡ-1								
C		DPⅡ-3									
【授業計画】				授業の内容				授業時間外の学習			
1	論文作成の基礎とゼミの進め方について				自分が卒業研究として取り上げたいテーマについて、考えておく。						
2	共通テーマの設定と研究テーマについて				自分が卒業研究として取り上げたいテーマについて、考えておく。						
3	共通テーマに関する発表・論文準備				第3回以降は個人発表を行うため、担当者はレジュメ作成を行う。						
4	共通テーマに関する発表・論文準備										
5	共通テーマに関する発表・論文準備				共通テーマに関する文献を読み込み、理解を深め、問題意識を持つ。						
6	共通テーマに関する発表・論文準備				子ども、保育に関する諸問題に関心を持ち、研究テーマを設定する。						
7	共通テーマに関する発表・論文準備										
8	共通テーマに関する発表・論文準備										
9	共通テーマに関する発表・論文準備				研究テーマ設定後は、先行研究、文献等を集め、読み込む。						
10	共通テーマに関する発表・論文準備										
11	研究テーマに基づく研究概要作成										
12	研究テーマに基づく研究概要作成				研究概要を作成し、提出する。						
13	論文作成				文献を読み進めつつ、論文作成を行う。						
14	論文作成										
15	論文作成										
【購入テキスト】		受講生の関心と合わせて、相談して決める。									
【参考書・資料】		必要に応じ、適宜指示する。									
【成績基準】		定期試験			中間試験	授業内提出物等	ホームワーク提出物等	授業への取組姿勢	その他(具体的に)		
		筆記試験	レポート	実技試験							
		%	%	%	%	%	%	100%	%		

授業科目名 卒業研究		授業担当者 大江 まゆ子		授業形態 演習	単位数 2単位	配当学年 2年	学期 通年(後期)		
【授業の概要】 保育者を志す者として、子ども、保育にかかわる諸問題に問題意識を持ち、自ら研究テーマを設定する。研究テーマ設定までには、あるテーマを定めて意見交換を行う等、学び合う雰囲気的大事に進めていく。テーマ設定の後、研究計画を立て、研究・最終発表を行う。									
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー		ディプロマ・ポリシー		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども、保育への諸問題に関する問題意識と知識を持つ。 ・多面的な視野を持ち、思考、判断する態度を身につける。 ・他者の意見に耳を傾け、生産的に意見交換することができる。 ・自らの関心を積極的に探究し、考えをまとめ、わかり易く伝えることに面白さを感じ、効果的に伝える力を身につける。 				
	生きる力	A	DPⅢ-3						
	感じる力	B	DPⅢ-1						
	表現する力	A	DPⅡ-1						
C		DPⅡ-3							
【授業計画】				授業の内容		授業時間外の学習			
1	中間発表に向けて			各自、中間発表に向けての準備を行う。					
2	中間発表に向けて								
3	中間発表その1			互いの発表に意見を述べ合い、学び合うために、感じたことを言語化する力を養う意識を日頃から保持しておくこと。					
4	中間発表その2			互いの発表に意見を述べ合い、学び合うために、感じたことを言語化する力を養う意識を日頃から保持しておくこと。					
5	論文作成			各自の研究テーマを主体的に探究し、論文作成を進める。					
6	論文作成								
7	論文作成								
8	論文作成								
9	論文作成								
10	論文作成								
11	論文作成			卒業研究ゼミ内発表に向けての準備を行う。					
12	卒業研究発表準備								
13	卒業研究発表準備			ゼミ内発表を通して、最終発表への準備を整える。					
14	卒業研究発表に向けて（ゼミ内発表）								
15	卒業研究発表に向けて（ゼミ内発表）								
【購入テキスト】									
【参考書・資料】		必要に応じ、適宜指示する。							
【成績基準】		定期試験			中間試験	授業内 提出物等	ホームワーク 提出物等	授業への 取組姿勢	その他 (具体的に)
		筆記試験	レポート	実技試験					
		%	%	%	%	%	%	100%	%

授業科目名 卒業研究		授業担当者 大谷 彰子		授業形態 演習	単位数 2単位	配当学年 2年	学期 通年(前期)		
【授業の概要】 保育や乳幼児に関する興味や疑問を基に、行いたい体験学習をグループで企画、準備、実践、省察し、よりよい保育を追求しようとする姿勢と保育実践力を身に付ける。また、保育を通して社会貢献できる活動を企画工夫し、社会の一員として地域と繋がる経験から学びを深めることを目的とする。									
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー		ディプロマ・ポリシー		子どもの環境や保育の現状について知識を身につける。				
	生きる力	A	D P I - 1		自らの研究テーマについて説明し意見を述べるができる。				
	感じる力	A	D P II - 1		保育に関する自己課題をあげ積極的に探究することができる。				
		C	D P II - 2		研究テーマに関して、自ら調査し考える姿勢を身に付ける。				
表現する力	C	D P III - 1		自ら設定したテーマを研究し、保育実践力を身に付ける。					
【授業計画】				授業の内容	授業時間外の学習				
1	ゼミのオリエンテーション								
2	幼児教育、保育に関する興味、課題について				研究内容について調べ資料を持参する。				
3	幼児教育、保育に関する興味、課題について				研究内容について調べ資料を持参する。				
4	研究テーマを決定				研究内容について調べ資料を持参する。				
5	体験学習の企画				体験学習の準備とまとめ				
6	体験学習の企画				体験学習の準備とまとめ				
7	体験学習の企画				体験学習の準備とまとめ				
8	体験学習の企画				体験学習の準備とまとめ				
9	体験学習と振り返り				体験学習の準備とまとめ				
10	体験学習と振り返り				体験学習の準備とまとめ				
11	体験学習と振り返り				体験学習の準備とまとめ				
12	体験学習と振り返り				体験学習の準備とまとめ				
13	体験学習と振り返り				体験学習の準備とまとめ				
14	体験学習と振り返り				中間発表に向けてまとめ				
15	中間発表（ゼミ内）								
【購入テキスト】									
【参考書・資料】		必要に応じ、適宜指示する。							
【成績基準】		定期試験			中間試験	授業内 提出物等	ホームワーク 提出物等	授業への 取組姿勢	その他 (具体的に)
		筆記試験	レポート	実技試験					
		%	%	%	%	20%	20%	60%	%

授業科目名 卒業研究	授業担当者 大谷 彰子	授業形態 演習	単位数 2単位	配当学年 2年	学期 通年(後期)			
【授業の概要】 保育や乳幼児に関する興味や疑問を基に、行いたい体験学習をグループで企画、準備、実践、省察し、よりよい保育を追求しようとする姿勢と保育実践力を身に付ける。また、保育を通して社会貢献できる活動を企画工夫し、社会の一員として地域と繋がる経験から学びを深めることを目的とする。								
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシー	子どもの環境や保育の現状について知識を身につける。					
	生きる力	A	DPⅠ-1	自らの研究テーマについて説明し意見を述べるができる。				
	感じる力	A	DPⅡ-1	保育に関する自己課題をあげ積極的に探究することができる。				
		C	DPⅡ-2	研究テーマに関して、自ら調査し考える姿勢を身に付ける。				
表現する力	C	DPⅢ-1	自ら設定したテーマを研究し、保育実践力を身に付ける。					
【授業計画】			授業の内容	授業時間外の学習				
1	これまでの卒業研究の発表							
2	後期の研究計画作成			体験学習の準備とまとめ				
3	体験学習の企画			体験学習の準備とまとめ				
4	体験学習の企画			体験学習の準備とまとめ				
5	体験学習の企画			体験学習の準備とまとめ				
6	体験学習と振り返り			体験学習の準備とまとめ				
7	体験学習と振り返り			体験学習の準備とまとめ				
8	体験学習と振り返り			体験学習の準備とまとめ				
9	体験学習と振り返り			体験学習の準備とまとめ				
10	体験学習と振り返り			体験学習の準備とまとめ				
11	研究成果まとめ			発表内容をまとめ資料を作成				
12	研究成果まとめ			発表内容をまとめ資料を作成				
13	卒業研究発表準備			発表内容をまとめ資料を作成				
14	卒業研究発表準備			発表内容をまとめ資料を作成				
15	卒業研究発表準備			発表内容をまとめ資料を作成				
【購入テキスト】								
【参考書・資料】								
【成績基準】	定期試験			中間試験	授業内 提出物等	ホームワーク 提出物等	授業への 取組姿勢	その他 (具体的に)
	筆記試験	レポート	実技試験					
	%	%	%	%	20%	20%	60%	%

授業科目名		授業担当者		授業形態	単位数	配当学年	学期		
卒業研究		岸本 朝予		演習	2単位	2年	通年(前期)		
<p>【授業の概要】</p> <p>保育に関心のある者として、子どもや保育のまわりに起こる諸問題に対して問題意識をもち、自らの研究テーマを設定し、研究を深める。個人の研究テーマ設定までには、共通のテーマを設定し、自分の視点からの参考資料を紹介したり意見交換を行ったりすることを通して、自分の考えをさらに深めていく。</p> <p>研究内容を具体化する過程にも関心をもてるような学び合いの場の雰囲気も大切にしながら進めていく。</p> <p>テーマの設定後は、研究計画を立てて、研究・最終発表を行う。</p>									
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシー		<ul style="list-style-type: none"> 子どもや保育のまわりの社会に問題意識と知識を持つ。 多様な社会状況へ視野を広げ、思考、判断する力を身につける。 他者の「語り」に耳を傾け、痛みや喜びを共有する仕方を学ぶ。 自らの研究テーマを設定し、最終発表を行う。 					
	生きる力	A	DPⅢ-3						
	感じる力	C	DPⅢ-2						
	表現する力	A	DPⅡ-1						
【授業計画】				授業の内容		授業時間外の学習			
1	オリエンテーション			ゼミの内容について理解する					
2	個人研究の方法について			研究の仕方について理解する					
3	発表と応答			個人発表を行うため、担当者は発表準備を行う					
4	発表と応答			個人発表を行うため、担当者は発表準備を行う					
5	発表と応答			個人発表を行うため、担当者は発表準備を行う					
6	発表と応答			個人発表を行うため、担当者は発表準備を行う					
7	発表と応答			個人発表を行うため、担当者は発表準備を行う					
8	発表と応答			個人発表を行うため、担当者は発表準備を行う					
9	発表と応答			個人発表を行うため、担当者は発表準備を行う					
10	発表と応答			個人発表を行うため、担当者は発表準備を行う					
11	発表と応答			個人発表を行うため、担当者は発表準備を行う					
12	発表と応答			個人発表を行うため、担当者は発表準備を行う					
13	発表と応答			個人発表を行うため、担当者は発表準備を行う					
14	発表と応答			個人発表を行うため、担当者は発表準備を行う					
15	まとめ			前期を振り返り、一考察をもつ					
【購入テキスト】		必要に応じて適宜配布する							
【参考書・資料】									
【成績基準】		定期試験			中間試験	授業内提出物等	ホームワーク提出物等	授業への取組姿勢	その他(具体的に)
		筆記試験	レポート	実技試験					
		%	%	%	%	30%	%	70%	%

授業科目名 卒業研究	授業担当者 岸本 朝予	授業形態 演習	単位数 2単位	配当学年 2年	学期 通年（後期）					
【授業の概要】 保育に関心のある者として、子どもや保育のまわりに起こる諸問題に対して問題意識をもち、自らの研究テーマを設定し、研究を深める。個人の研究テーマ設定までには、共通のテーマを設定し、自分の視点からの参考資料を紹介したり意見交換を行ったりすることを通して、自分の考えをさらに深めていく。 研究内容を具体化する過程にも関心をもてるような学び合いの場の雰囲気も大切にしながら進めていく。 テーマの設定後は、研究計画を立てて、研究・最終発表を行う。										
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシー	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや保育のまわりの社会に問題意識と知識を持つ。 多様な社会状況へ視野を広げ、思考、判断する力を身につける。 他者の「語り」に耳を傾け、痛みや喜びを共有する仕方を学ぶ。 自らの研究テーマを設定し、最終発表を行う 							
	生きる力	A				DPⅢ-3				
	感じる力	C				DPⅢ-2				
	表現する力	A				DPⅡ-1				
【授業計画】			授業の内容	授業時間外の学習						
1	中間発表		各自中間発表に向けての準備を行う							
2	中間発表		各自中間発表に向けての準備を行う							
3	中間発表		各自中間発表に向けての準備を行う							
4	中間発表		各自中間発表に向けての準備を行う							
5	中間発表		各自中間発表に向けての準備を行う							
6	中間発表		各自中間発表に向けての準備を行う							
7	中間発表		各自中間発表に向けての準備を行う							
8	中間発表		各自中間発表に向けての準備を行う							
9	中間発表		各自中間発表に向けての準備を行う							
10	中間発表		各自中間発表に向けての準備を行う							
11	中間発表		各自中間発表に向けての準備を行う							
12	卒業研究発表準備		卒業研究ゼミ内発表に向けての準備を行う。							
13	卒業研究発表準備		卒業研究ゼミ内発表に向けての準備を行う。							
14	卒業研究発表に向けて（ゼミ内発表）		卒業研究発表に向けての準備を行う。							
15	卒業研究発表に向けて（ゼミ内発表）		卒業研究発表に向けての準備を行う。							
【購入テキスト】										
【参考書・資料】			必要に応じて適宜指示する							
【成績基準】			定期試験			中間試験	授業内 提出物等	ホームワーク 提出物等	授業への 取組姿勢	その他 (具体的に)
			筆記試験	レポート	実技試験					
			%	%	%					

授業科目名		授業担当者		授業形態	単位数	配当学年	学期		
卒業研究		林 泰子		演習	2単位	2年	通年(前期)		
【授業の概要】									
保育現場で役立つ教育技術や教材の開発などについて、ゼミ生各自が提示した企画をもとに検討し、研究計画を設定する。前期のゼミ活動は、社会人への自覚を促す基本作法を身につけ、コミュニケーション能力や読み聞かせ・演技などの表現力のスキルアップを目指す。これらの体験から得た知見を、後期の研究活動の最終課題へとつなげていく。									
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシー		<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての適切な作法を行うことができる。 ・体験から得た知見を活かした研究を計画することができる。 ・研究テーマについて、自分の考えを説明することができる。 ・他者と協調し、課題解決することができる。 					
	生きる力	B	DPⅢ-2						
	感じる力	C	DPⅡ-3						
	表現する力	A	DPⅡ-1						
		A	DPⅢ-1						
【授業計画】				授業の内容		授業時間外の学習			
1	ゼミのオリエンテーション			シラバスの確認、ゼミ・ルールの確認					
2	各自のテーマ企画の検討			研究案に関する情報収集					
3	研究テーマと取り組みの設定			研究案に関する情報収集					
4	研究内容と表現方法1			表現方法1のまとめ					
5	研究内容と表現方法2			表現方法2のまとめ					
6	卒業研究の年間計画と中間発表までの計画作成			年間計画と中間発表までの検討					
7	中間発表までの研究内容の検討と実践			中間発表の準備と進捗報告					
8	中間発表までの研究内容の検討と実践			中間発表の準備と進捗報告					
9	中間発表までの研究内容の検討と実践			中間発表の準備と進捗報告					
10	中間発表までの研究内容の検討と実践			中間発表の準備と進捗報告					
11	中間発表までの研究内容の検討と実践			中間発表の準備と進捗報告					
12	中間発表までの研究内容の検討と実践			中間発表に向けたまとめ					
13	中間発表までの研究内容の検討と実践			中間発表に向けたまとめ					
14	中間発表（ゼミ内）の準備			中間発表に向けたまとめ					
15	中間発表（ゼミ内）			中間発表の記録					
【購入テキスト】		研究活動での個人への必要性に応じ指示する。							
【参考書・資料】		必要に応じて、適宜配布・指示する。							
【成績基準】		定期試験			中間試験	授業内 提出物等	ホームワーク 提出物等	授業への 取組姿勢	その他 (具体的に)
	筆記試験	レポート	実技試験						
	%	%	%	%	20%	20%	60%	%	

授業科目名 卒業研究		授業担当者 林 泰子		授業形態 演習	単位数 2単位	配当学年 2年	学期 通年(後期)		
【授業の概要】 保育現場で役立つ教育技術や教材の開発などの最終課題について、前期の体験から得た各自の知見をもとに内容を検討し、研究計画を設定する。コミュニケーション能力や表現力のスキルアップを活かした研究内容の発表を目指す。									
【到達目標】	カリキュラム・ポリシー		ディプロマ・ポリシー		<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての適切な作法を行うことができる。 ・体験から得た知見を活かした研究を計画することができる。 ・研究テーマについて、自分の考えを説明することができる。 ・他者と協調し、課題解決することができる。 				
	生きる力	B	DPⅢ-2						
	感じる力	C	DPⅡ-3						
	表現する力	A	DPⅡ-1						
A		DPⅢ-1							
【授業計画】				授業の内容		授業時間外の学習			
1	前期の卒業研究の振り返り								
2	後期の研究計画と取り組み設定				研究計画の最終課題設定の準備				
3	後期の研究計画と取り組み設定				研究計画の最終課題設定の準備				
4	研究課題の作成				研究課題の進捗内容のまとめ・作成準備				
5	研究課題の作成				研究課題の進捗内容のまとめ・作成準備				
6	研究課題の作成				研究課題の進捗内容のまとめ・作成準備				
7	研究課題の作成				研究課題の進捗内容のまとめ・作成準備				
8	研究課題の作成				研究課題の進捗内容のまとめ・作成準備				
9	研究課題の作成				研究課題の進捗内容のまとめ・作成準備				
10	指導および制作				研究課題の進捗内容のまとめ・作成準備				
11	卒業研究発表の準備1				研究成果のまとめ				
12	卒業研究発表の準備2				研究成果のまとめ				
13	卒業研究発表の準備3				ゼミ内リハーサルの準備				
14	卒業研究発表のゼミ内リハーサル1				卒業研究発表の最終準備				
15	卒業研究発表のゼミ内リハーサル2				卒業研究発表の最終準備				
【購入テキスト】		研究活動での個人への必要性に応じ指示する。							
【参考書・資料】		必要に応じて、適宜配布・指示する。							
【成績基準】		定期試験			中間試験	授業内 提出物等	ホームワーク 提出物等	授業への 取組姿勢	その他 (具体的に)
		筆記試験	レポート	実技試験					
		%	%	%	%	20%	20%	60%	%